

見 本

第1号様式（第7条関係）

令和6年7月1日

北 区 長 殿

住所又は所在地 〒114-8503 北区王子 1-11-1

事業者名又は団体名 北区郷土歴史研究会

代表者役職・氏名 会長 北区 太郎

東京北区渋沢栄一プロジェクト推進事業助成金交付申請書

標記の助成金に係る事業を下記のとおり行うので、東京北区渋沢栄一プロジェクト推進事業助成金交付要綱第7条の規定により、助成金の交付を申請する。

記

1 事業の内容等

事業の名称	(仮称) 渋沢栄一入門講座
助成対象事業区分 (いずれかに☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 渋沢翁顕彰事業 <input type="checkbox"/> 渋沢翁関連商品等開発事業
助成金申請額	300,000円

2 添付資料等

- (1) 交付申請者概要書（第2号様式）
- (2) 事業実施計画書（第3号様式）
- (3) 事業収支予算書（第4号様式）
- (4) 申請者ごとに必要となる書面（詳細は「申請の手引き」をご確認ください。）

下記の内容を読み、承諾する場合は、下記の☐にチェックを入れてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 下記の内容を確認し、承諾しました。
申請者は、区税及び北区に対する債務の支払等の滞納はありません。また、必要があるときは申請者の課税状況について、北区が官公署に報告を求めることについて承諾します。
申請者は、暴力団及びその他の反社会的勢力ではなく、役員にも暴力団員及びその他の反社会的勢力の構成員はおりません。また、必要があるときは、北区暴力団排除条例第8条に基づき暴力団でないことを北区が警視庁に対して確認を行うことについて承諾します。

見 本

第2号様式（第7条関係）

東京北区渋沢栄一プロジェクト推進事業助成金交付申請者概要書

申請者の名称	北区郷土歴史研究会	
連絡先	書類送付先住所	〒114-8503 北区王子本町1-×-×
	担当者氏名	飛鳥山 花子
	電話番号	090-0000-0000
	FAX番号	なし
	メールアドレス	〇〇〇〇@××××
	備考	電話連絡の場合は、午後のみ可
設立年月日	平成20年 5月 1日	
構成員数	10人（うち役員 4人）	
事業主体の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 区民団体 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 事業者連携による団体 <input type="checkbox"/> 各種法人 ※いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> を付けてください	
設立の経緯	北区の郷土史・歴史に興味がある者が集まり設立。	
活動の目的	北区の郷土・歴史を研究し、地域に還元することを目的に活動。	
主な活動内容	月1回の勉強会。 年1回区内の文化センターで講座等を実施。	
助成金の状況	助成金を交付した団体	
	助成金の交付を受けた年度	
	助成金の名称	

備考 「助成金の状況」欄は、過去5年以内に北区又はその他の団体から助成金を受けている場合、団体名、助成金の交付を受けた年度及び助成金の名称を記入してください。

見 本

第3号様式（第7条関係）

東京北区渋沢栄一プロジェクト推進事業実施計画書

事業の名称	(仮称) 渋沢栄一入門講座
事業の目的	渋沢栄一の入門講座として小中学生を対象とした講義をし、地元の偉人について学習し、渋沢栄一が暮らした街・北区の魅力を再認識してもらうことを目的とする。
事業実施期間 及び時間	令和5年11月10日（日）（予定） ※（14時00分～16時00分） ※イベントなどを実施する場合で開催時間が記入できる場合は記入して下さい
事業実施場所	北区●●文化センター
事業内容	第1部 渋沢栄一の生涯 ～休憩～ 第2部 渋沢栄一と北区
事業の実施体制	外部から講師を招き、講義形式にて実施する予定 講義は、撮影しYoutubeにもアップする。
現在の進捗状況	講義内容について講師の方と調整中 密集空間にならないような会場づくりを検討中
期待される 事業の効果	若い世代を対象に地元の偉人について知り、北区への愛着を深めるきっかけをつくることが期待される。

備考 「事業内容」欄には、事業の実施方法を具体的に記入してください。

見 本

第4号様式（第7条関係）

東京北区渋沢栄一プロジェクト推進事業収支予算書

申請者名	北区郷土歴史研究会
------	-----------

〈収 入〉

項 目	金額（円）	内 訳
自己資金	20,000 円	不足分
事業に伴い一般参加者から徴収した額 又は商品等の販売金額	50,000 円	1000 円×50 人
渋沢栄一プロジェクト推進事業助成金	300,000 円	
その他の資金		
合 計（A）	370,000 円	

〈支 出〉

項 目	金額（円）	内 訳	
助成対象経費の内訳	報償費	100,000 円	講師（2 人）・教材制作謝礼
	保険料		
	需用費	100,000 円	チラシ・教材の印刷製本 会場のコロナ対策備品
	役務費	20,000 円	郵送代
	委託料		
	使用料及び賃借料	80,000 円	会場使用料・プロジェクターリース
	知的所有権に関する経費		
	旅費		
	その他の経費		
小 計：①	300,000 円		
助成対象外となる経費の内訳	撮影用カメラ・三脚の購入	50,000 円	会の備品として購入
	消費税	20,000 円	
	小 計：②	70,000 円	
合 計（B）：①+②	370,000 円		

助成金の交付決定金額が申請した金額より少ない場合、事業を実施できますか。

できる・できない

→ 最低限必要な助成金額 250,000 円（「できる」と答えた場合のみ記載）